

節電・CO₂削減取組の展開方策(案)

| 項 目 | 詳 細 |
|---|---|
| 1. NEB (Non-Energy Benefit) 概念の提示、及びNEB評価手法の確立 | <ul style="list-style-type: none">• 生産性・快適性・安全性の向上などの副次的メリットを包含する節電・CO₂削減取組の開発・提示。それによる節電・CO₂削減取組につきまとうネガティブなイメージ(我慢、無理強い、快適性・生産性の低下など)の払拭。• 省エネ・CO₂削減効果及びエネルギーコスト削減に加え、環境性能や快適性など他の様々な指標を含めた総合的・客観的な評価手法の開発及び普及。 |
| 2. 省エネ・CO₂削減を促進する社会基盤の構築 | <ul style="list-style-type: none">• 省エネに取り組むビル等に対する評価制度・認定制度の拡充。• 省エネコンサルティングに対するガイドラインや認証、資格制度構築等による信頼性確保。• 建築物所有者、利用者、省エネコンサルティング実施者がWin-Winになるビジネスモデルの構築。 |
| 3. 節電・CO₂削減取組に関する認知度・理解度の向上 | <ul style="list-style-type: none">• 節電・CO₂削減によるメリットの認知度向上に向けた意識啓発、及び節電・CO₂削減取組のブランド化(情報発信力の向上)。• 取組実施者の能動的参加・実践を喚起する仕掛け。• エネルギーマネジメントのためのコンサルティングの必要性に対する認識の浸透。 |
| 4. 人材育成・実施体制の構築 | <ul style="list-style-type: none">• 建築物の特性に応じて適正な設備・エネルギー管理を行うことができる実践的人材の育成。 |